

キクとイサム (1959)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 116分

初公開日 1959/03/29

公開情報 松竹

【解説】

水木洋子のオリジナル脚本を今井正が監督し映画化。会津磐梯山の農村を舞台に、戦後日本の人種差別を真正面から描いたドラマ。小学校六年のキクと四年のイサムは黒人と日本人のハーフで、祖母のしげに育てられていた。二人は、町へ出れば好奇の目にさらされ、学校へ行けば「クロンボ」と罵られた。ある日、カメラを持った男が村を訪れ、イサムの写真を撮っていった。気になったキクはしげにそのことを告げるが、しげは姉弟のどちらかを養子縁組に出すと言い出す。

【クレジット】

監督 今井正

製作 角正太郎

伊藤武郎

企画 市川喜一

脚本 水木洋子

撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao

美術 江口準次

音楽 大木正夫

録音 安恵重遠

出演 高橋エミ子

奥の山ジョージ Okunoyama George

北林谷栄

三国連太郎

織田政雄

多々良純

三井弘次